

東京交通新聞 2008 年（平成 20 年）10 月 27 日（月曜日）

<保有台数の 1%義務>

幻の大臣国会答弁

1992 年 9 月の参院決算委員会でユニバーサルタクシーの導入について国会初の質疑があった。質問者は旧社会党の堀利和氏、答弁は旧運輸大臣の奥田敬和氏。堀氏の質問に対し、奥田大臣は「大変貴重な重要な提言」と受け止めた上で自治体との連携を述べながら「全国タクシー保有台数のせめて 1%を、増車の要件として、雇用促進法の身障者雇用の義務化のような形で検討できないか」と答弁した。

16 年前の答弁は実行されることなく 幻 に終わったが、UD タクシー導入の具体的な方法論を示した発言として、にわかに注目されている。